

2019年度

カリキュラム編成書

インテリア科

東北電子専門学校

学 科 概 要 書

作成日： 2019年 4月 1日

作成者：松野 義勝

学 科 名	インテリア科
コース名	
所属分野	テクノロジー分野

(各行は適宜増減のこと)

人材ニーズ	・建築インテリア業界の高齢化や少子化により、世代交代がうまくいかず、大変な人材不足に陥っている。特に建築士や施工管理士をはじめとする技術者の不足が著しい。インテリアのみならず、それに関連する建築系の資格、知識、技術を習得している人材は引く手あまたな状況である。 ・急激に進行している「少子高齢化」は、医療的観点から住環境へアドバイスができる人材についても、併せて必要とされている。
育成人材像	・建築的知識技術を持つ、インテリア人を育成する。 ・医療的観点から住環境へのアドバイスができる人材を育成する。 ・人間力の向上を目指す。
主な教育内容 と目標	・インテリア接客販売の知識を習得する。 ・インテリア設計や施工の知識、技術を習得する。 ・コンピュータによるデジタル知識や技術を向上させ、2D3DCADや画像加工力を習得する。 ・色彩の知識や、福祉関係を住環境に活かす能力を習得する。 ・以上を踏まえ、そえらに対応する科目を適切に配置し、更に効果的なビジュアル教育及びアクティブラーニングなども行う。
目標資格	・インテリアコーディネーター/インテリア設計士/福祉住環境コーディネーター ・リビングスタイリスト/カラーコーディネーター
目指す職種	・インテリアコーディネーター/インテリア設計、施工士/建築系設計、施工管理士 ・ハウジングアドバイザー/リフォームコーディネーター/各種接客営業
業界や外部 専門家との 連携体制	【現状】 ・有限責任事業組合メディア・ストラータとの連携により、最新のインテリア業界の情報をリアルタイムで得ることができる。 【今後】 ・更なる有効な提携先を増やして行きたい。
特長	・インテリアコーディネーターの知識や技術を活かし、建築系のみならず、現代の多様化した進路に対応できる人材を育成している。
その他	・職業実践専門課程認定。(平成27年2月)

科目関連図

学科名	インテリア科
-----	--------

作成日： 2019年 4月 1日

科目 区分	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
一般 科目	就職対策Ⅰ		就職対策Ⅱ					
専門 科目	建築計画		建築構造					
			建築法規					
	建築材料		建築施工					
	インテリア販売							
	カラーコーディネート							
	インテリア概論		インテリアコーディネート					
	インテリア計画Ⅰ		インテリア計画Ⅱ					
	設計製図		住宅計画					
	CAD設計Ⅰ		CAD設計Ⅱ					
	デジタルデザイン		インテリア制作					
	コンピュータ基礎							

シラバス

作成日：2019年 4月 1日

学 科 名	インテリア科				
コ ー ス 名					
科 目 名	就職対策Ⅰ			科 目 分 類	独自／ 共通
履 修 年 次	1	履 修 学 期	通年	授 業 形 態	講義 ／実習／演習
コマ数／週	1	総授業コマ数	38	単 位 数	2
担 当 教 員	近藤 孝之/岡崎 和行 大坂 祥郎/升澤 満夫	実 務 経 験			
目 的 ／ 概 要	習熟度に応じたクラスを編成し、一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます				
到 達 目 標	就職活動時の一般常識試験に対応できる能力を身につける				
目 標 資 格	特になし				
前 提 知 識	特になし				
授 業 計 画	コマ数	授 業 内 容			
		※別紙 就職対策Ⅰ（別紙①授業計画）			
使 用 教 材	（前期）「専門学校生のための就職筆記試験対策問題集」（ウイネット） （後期）「聞いたらわかった SPI」（一ツ橋書店）				
履 修 上 の 意 注	・コマごとの学習目標を掴み、時間内に理解できるようにする ・理解できなかった所や復習のため、eラーニングを活用し理解度を高める ・ノートをきちんと取り、復習や予習に活かす ・以上でも解らなかった所は、休み時間や放課後、先生に聞き理解できるようにする ・（卒業前学年は）履歴書やエントリーシートの書き方を覚える				
成 績 評 価 の 方 法	・実力試験の成績（年4回実施） ・授業に取り組む姿勢 などを総合的に評価する				

就 職 対 策 I

作成日：2019年4月1日

< 前 期 >

授業	第1章 国 語	第3章 社 会	第2章 数 学
	開始 10 分間で問題集を学習・確認		後半 60 分間で講義・演習
1	授業の進め方、実力テストの解答・解説		
2	Exercise 1・2 漢字の読み(1)/(2)	Exercise 1/2 日本の地理(1)/日本の地理(2)	Exercise 1 式と計算(1)
3	Exercise 3/4 漢字の読み(3)/書き取り(1)	Exercise 3/4 日本の地理(3)/世界地理(1)	Exercise 2 式と計算(2)
4	Exercise 5/6 漢字の書き取り(2)/同音異義語(1)	Exercise 5/6 世界地理(2)/世界の地理(3)	Exercise 3 速さの基礎
5	Exercise 7/8 同音異義語(2)/(3)	Exercise 7/8 日本史(1)/日本史(2)	Exercise 4 旅人算
6	Exercise 9 同訓異字	Exercise 9 日本史(3) 近現代史	Exercise 5 通過算
7	Exercise 10/11 語句の意味・関連(1)/(2)	Exercise 10 世界史(1) 近代以前の西洋史	Exercise 6 流水算
8	Exercise 12 同意語・類義語	Exercise 11 世界史(2) 近代以前の東洋史	Exercise 7 割合の基礎
9	Exercise 13 反対語(対義語)	Exercise 12 世界史(3) 近代史	Exercise 8 濃度
10	Exercise 14 四字熟語(1) 書き取り、文字補充	Exercise 13 政治経済(1) 日本国憲法	Exercise 9 損益算
11	Exercise 15 四字熟語(2) 選択	Exercise 14 政治経済(2) 三権分立	Exercise 10 仕事算
12	Exercise 16/17 ことわざ(1)/(2)	Exercise 15 政治経済(3) 内閣と裁判所	Exercise 11 虫食い算
13	Exercise 18 慣用句・故事成語	Exercise 16 政治経済(4) 経済の仕組みと～	Exercise 12 順列・確率
14	Exercise 19 敬語	Exercise 17 政治経済(5) 景気の循環と～	Exercise 13 集合
15	Exercise 20 適語補充	Exercise 18 現代社会 社会保障制度	Exercise 14 推理
16	Exercise 21 文章の並び替え・文章整序	Exercise 19 日本・世界の思想・宗教	Exercise 15 図形と角度
17	Exercise 22 文章読解	Exercise 20 日本・世界の芸術家	Exercise 16 面積・体積
18	(予 備)	(予 備)	Exercise 17 展開図

< 後 期 >

授業	言 語 分 野	非 言 語 分 野
	開始 10 分間で問題集を自習	後半 60 分間で講義
1	SPI2 の概要	1. 命題
2	1. 同意語	4. 位置と方角
3	2. 反意語	7. 年齢算
4	3. 用途	8. 植木算
5	4. 行為	9. 鶴亀算
6	5. 包含	12. 水槽算
7	6. 原料	17. 代金の精算
8	7. ことわざ・慣用句	20. 数列
9	8. 敬語	21. N進数
10	9. 語句の意味	22. 図形の証明
11	10. 多義語	24. 物の流れと比率
12	11. 文法	25. ブラックボックス
13	12. 空欄補充	26. フローチャート
14	13. 文章整序	27. 図表の読み取り
15	14. 長文読解	28. てこ・モーメント
16		29. 滑車
17		30. 物体の運動
18		31. 電気
19		32. グラフの傾城
20		33. 新傾向問題

シラバス

作成日：2019年 4月 1日

学 科 名	インテリア科				
コ ー ス 名					
科 目 名	就職対策Ⅱ			科 目 分 類	独自 / 共通
履 修 年 次	2	履 修 学 期	前期	授 業 形 態	講義 / 実習 / 演習
コマ数 / 週	2	総授業コマ数	38	単 位 数	2
担 当 教 員	松野 義勝	実 務 経 験			
目 的 / 概 要	・希望の業種、職種を探することができ受験することができる ・就職活動の円滑化 ・ビジネスマナーの習得				
到 達 目 標	・希望する企業から内定を獲得することができる				
目 標 資 格					
前 提 知 識	・就職対策Ⅰを理解習得している				
授 業 計 画	コマ数	授 業 内 容			
	1	・オリエンテーション			
	19	・就職センターを活用しての情報収集や受験企業の選定等や担当者との面談			
	3	・一般常識問題の練習			
	3	・履歴書、エントリーシート等の作成練習			
	3	・模擬面接などを通しての面接練習			
	3	・就職活動における言葉遣いや態度、基本動作等についての実践練習			
	3	・グループディスカッション			
	3	・個別面談			
計	38				
使 用 教 材	・必要な時に、適宜配布する				
履 修 上 の 意 注	・自主的かつ積極的に行動すること				
成 績 評 価 の 方 法	・活動状況及び課題 80% ・授業に取り組む姿勢 20%				

シラバス

作成日：2019年 4月 1日

学 科 名	インテリア科				
コ ー ス 名					
科 目 名	コンピュータ基礎			科 目 分 類	独自 / 共通
履 修 年 次	1	履 修 学 期	通年	授 業 形 態	講義 / 実習 / 演習
コマ数 / 週	2	総授業コマ数	76	単 位 数	4
担 当 教 員	高橋 敬 丸山 千恵	実 務 経 験			
目 的 / 概 要	・情報倫理の習得 ・情報関連科目を学習するために必要なWindowsの基本操作を身につける ・Excelの基本操作の習得 ・パーソナルコンピュータについてハードウェアやソフトウェア、周辺機器などに関する基本的な知識を身につける ・インターネットやメール、LANをはじめとするネットワークの基本的な知識を身につける ・情報化社会における問題点や法整備、モラル等について基本的な知識を身につける ・CAD利用技術者基礎試験の対策				
到 達 目 標	・パーソナルコンピュータの仕組みを理解し、内部接続や周辺機器との接続ができるようになること ・ネットワークに関する知識を深め、家庭や職場からインターネットに接続できるようになること ・情報化社会におけるマナーや法律を理解し、正しく運用することができるようになること ・ネット社会における影の部分の理解し、何が正しく何が正しくないかを判断できるようになること ・CAD利用技術者基礎試験 合格 ・Excelを実践的に使えるようになること				
目 標 資 格	・CAD利用技術者基礎試験				
前 提 知 識	・高等学校の情報科目履修程度の知識				
授 業 計 画	コマ数	授 業 内 容			
	19	・前期(週1コマ) CAD利用技術者基礎試験の対策			
	19	・前期(週1コマ) InfossおよびExcelの実習			
	19	・後期(週1コマ) CAD利用技術者基礎試験の対策			
	19	・後期(週1コマ) Excelの実習			
	計 76				
使 用 教 材	・CAD利用技術者試験2級・基礎公式ガイドブック ・【電子書籍】30時間でマスター Excel 2013 ・Infoss e-Learning: 情報倫理 ・講義時の配布資料等				
履 修 上 の 意 注	・今やコンピュータやネットワークの知識は、社会に出ていく上で必須となってきた積極的に身につけるように心掛けること				
成 績 評 価 の 方 法	・定期試験の成績 50% ・課題内容・提出状況 30% ・授業に取り組む姿勢 20%				

シラバス

作成日：2019年 4月 1日

学 科 名		インテリア科			
コ ー ス 名					
科 目 名		インテリア概論		科 目 分 類	独自 / 共通
履 修 年 次	1	履 修 学 期	通年	授 業 形 態	講義 / 実習 / 演習
コマ数 / 週	1	総授業コマ数	38	単 位 数	2
担 当 教 員	松野 義勝	実 務 経 験	企業にて下記業務に携わる ・専用、集合住宅の設計監理 ・店舗の設計監理 ・公共建築の企画の設計監理 ・展覧会への出店、各種建築系イベントの企画 ・各種建築インテリアデザインコンペティションへの提出 上記のジャンルの基本設計・実施設計、現場設計監理など 幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う		
目 的 / 概 要	・2級インテリア設計士、インテリアコーディネーター合格のための、基礎インテリア力を身につける ・福祉住環境コーディネーターの基礎知識を習得する ・国内外のインテリア歴史を理解習得する				
到 達 目 標	・インテリア用語を確実に理解する ・室内環境を向上について、提案できる知識を身につける ・インテリア(エレメント、マーケティング、歴史、法規)の基礎を理解する				
目 標 資 格	・3級福祉住環境コーディネーター				
前 提 知 識					
授 業 計 画	コマ数	授 業 内 容			
	5	インテリア基礎			
	5	インテリアの歴史			
	8	インテリアデザインについて			
	7	福祉住環境コーディネーター概論			
	5	インテリア法規			
	7	インテリア関連事項補足			
	1	期末試験			
計	38				
使 用 教 材	・建築のインテリアデザイン(市谷出版) ・福祉住環境コーディネーター(R)3級短期合格テキスト(日本能率協会マネジメントセンター) ・福祉住環境コーディネーター検定試験3級過去問題集(ハウジングエージェンシー)				
履 修 上 の 意 注	・A4サイズノートを準備し、重要な部分はノートを取る				
成 績 評 価 の 方 法	・定期試験の成績 50% ・課題内容・提出状況 30% ・授業に取り組む姿勢 20%				

シラバス

作成日：2019年 4月 1日

学 科 名		インテリア科			
コ ー ス 名					
科 目 名		インテリア計画Ⅰ（二級建築士認定科目）		科 目 分 類	独自 / 共通
履 修 年 次	1	履 修 学 期	通年	授 業 形 態	講義 / 実習 / 演習
コマ数 / 週	2	総授業コマ数	76	単 位 数	4
担 当 教 員	渡邊 武海	実 務 経 験	個人にて総合デザイン事務所を主宰し、各種インテリア・建築の基本設計・実施設計、現場設計監理などを行う またイベントのチラシやパンフの作成などグラフィックデザインも行い、イベントの制作・企画なども併せて行う それら幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う		
目 的 / 概 要	・小規模の店舗がプランニングできる能力を身に付ける ・什器、インテリアエレメントに対する知識を身に付ける ・インテリアプランニング/コーディネートの基礎知識修得サポート				
到 達 目 標	・小規模な店舗の空間設計ができる ・意匠と歴史の連携を意識し、その活用ができる ・単位空間をはじめとし、より使いやすい空間をデザインすることができる ・実現できるプランニングを常に意識することができる				
目 標 資 格	・二級建築士、インテリアコーディネーター				
前 提 知 識	・設計製図Ⅰ、Ⅱ / CAD設計Ⅰ、Ⅱを修得していること				
授 業 計 画	コマ数	授 業 内 容			
	1	・プランニング概要説明			
	17	・基本設計(企画、調査、条件の整理、構想、エスキス)			
	24	・実施設計(設計概要、付近見取り図、法の検討、配置・平面・立面・展開・断面・パース)			
	10	・スタディー、プレゼンモデル作成			
	4	・空間に必要な諸要素			
	20	・小規模店舗設計課題: 演習プリントにて詳細は指示			
計	76				
使 用 教 材	・演習プリント(進度により調整) ・指定教材(進度により調整)				
履 修 上 の 意 注	・A4サイズノートを準備し、重要な部分は工夫しながらノートを取ること ・指定教材を忘れないで準備すること				
成 績 評 価 の 方 法	・課題内容・提出状況 80% ・授業に取り組む姿勢 20%				

シラバス

作成日：2019年 4月 1日

学 科 名		インテリア科			
コ ー ス 名					
科 目 名		インテリア販売		科 目 分 類	独自 / 共通
履 修 年 次	1	履 修 学 期	通年	授 業 形 態	講義 / 実習 / 演習
コマ数 / 週	2	総授業コマ数	76	単 位 数	4
担 当 教 員	松野 義勝	実 務 経 験			
目 的 / 概 要		・インテリア販売の知識及び実践力を身につける ・2級リビングスタイリスト合格			
到 達 目 標		・販売技術、接客マナーの習得 ・ビジネスマナー及び報連相の習得 ・インテリア販売知識の習得 ・一点透視図法作図の習得			
目 標 資 格		・2級リビングスタイリスト			
前 提 知 識					
授 業 計 画	コマ数	授 業 内 容			
	1	リビングスタイリストとは			
	3	小売業			
	5	卸売業			
	5	流通			
	5	マーケティング基礎			
	5	セールスプロモーション基礎			
	5	インテリアエレメントなど			
	5	インテリアグリーンなど			
	10	一点透視図基礎			
	30	インテリア重要事項			
	2	期末試験			
計	76				
使 用 教 材		・2級リビングスタイリスト資格試験公式テキスト(ハウジングエージェンシー) ・2級リビングスタイリスト資格試験過去問題徹底研究(ハウジングエージェンシー)			
履 修 上 の 意 注		・A4サイズノートを準備し、重要な部分はノートを取る			
成 績 評 価 の 方 法		・定期試験の成績 50% ・課題内容・提出状況 30% ・授業に取り組む姿勢 20%			

シラバス

作成日：2019年 4月 1日

学 科 名		インテリア科			
コ ー ス 名					
科 目 名		建築計画(二級建築士認定科目)		科 目 分 類	独自 / 共通
履 修 年 次	1	履 修 学 期	通年	授 業 形 態	講義 / 実習 / 演習
コマ数 / 週	1	総授業コマ数	38	単 位 数	2
担 当 教 員	菅原 麻衣子	実 務 経 験	個人にて建築設計事務所を主宰し、各種建築インテリアの基本設計・実施設計、現場設計監理・事務所経営など幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う		
目 的 / 概 要	・建築計画の意義とその方法を理解修得する ・建築設計基礎能力を修得する ・インテリアプランニング/コーディネートの基礎知識修得サポート				
到 達 目 標	・建築計画の意義とその方法を理解修得する ・建築環境について習熟し、それを活かせる建築計画を立案することができる ・建築物各部の単位計画について習熟し、それを設計活かすことができる ・設備計画の基本を理解する				
目 標 資 格	・二級建築士				
前 提 知 識	・特に無し				
授 業 計 画	コマ数	授 業 内 容			
	4	・建築環境、外部・室内環境			
	4	・伝熱と結露			
	3	・換気と通風			
	5	・日照、日影、日射・採光、色彩			
	4	・音環境			
	4	・計画概要			
	4	・各部の計画			
	2	・工法等			
	2	・各種施設			
	4	・空気調和、電気設備、消防、防災等			
計	38	・期末考査			
使 用 教 材	・住宅の計画学入門―住まい設計の基本を知る(鹿島出版会) ・演習プリント(進度により調整) ・指定教材(進度により調整)				
履 修 上 の 意 注	・A4サイズノートを準備し、重要な部分は工夫しながらノートを取ること ・指定教材を忘れないで準備すること				
成 績 評 価 の 方 法	・定期試験の成績 50% ・課題内容・提出状況 30% ・授業に取り組む姿勢 20%				

シラバス

作成日：2019年 4月 1日

学 科 名	インテリア科				
コ ー ス 名					
科 目 名	建築材料(二級建築士認定科目)			科 目 分 類	独自 / 共通
履 修 年 次	1	履 修 学 期	通年	授 業 形 態	講義 / 実習 / 演習
コマ数 / 週	1	総授業コマ数	38	単 位 数	2
担 当 教 員	小野寺 忠則	実 務 経 験			
目 的 / 概 要	・建築材料について理解修得する ・建築設計基礎能力を修得する ・インテリアプランニング/コーディネートの基礎知識修得サポート				
到 達 目 標	・建築、インテリアを構成する材料について理解する ・使用される部位において、適切な材料選択ができる能力を身に付ける ・材料と建築の安全性の関連を理解修得する ・健康的な材料の選定ができる能力を身に付ける				
目 標 資 格	・二級建築士				
前 提 知 識	・基礎建築知識				
授 業 計 画	コマ数	授 業 内 容			
	4	・建築材料について			
	8	・建築材料の分類と性能			
	5	・木材について			
	5	・鋼材について			
	5	・コンクリートについて			
	8	・仕上材料について			
	1	・材料レポートの作成課題を課す(詳細は演習プリントにて)			
	2	・期末考査			
計	38				
使 用 教 材	・初めての建築材料(学芸出版社) ・演習プリント(進度により調整) ・指定教材(進度により調整)				
履 修 上 の 意 注	・A4サイズノートを準備し、重要な部分は工夫しながらノートを取ること ・指定教材を忘れないで準備すること				
成 績 評 価 の 方 法	・定期試験の成績 50% ・課題内容・提出状況 30% ・授業に取り組む姿勢 20%				

シラバス

作成日：2019年 4月 1日

学 科 名		インテリア科			
コ ー ス 名					
科 目 名		設計製図(二級建築士認定科目)		科 目 分 類	独自 / 共通
履 修 年 次		1	履 修 学 期	通年	授 業 形 態
コマ数 / 週		2	総授業コマ数	76	単 位 数
担 当 教 員		武田 幸司	実 務 経 験	個人にて建築設計事務所を主宰し、各種建築の基本設計・実施設計、現場設計監理・事務所経営など幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う	
目 的 / 概 要		・建築、インテリア製図の基本作図法を修得する ・建築物の基本的な構造を学び、インテリアとの取り合いを学ぶ ・小規模建築(木造・RC造・S造・住居・店舗等)の、建築設計法を修得する ・単位空間の計画、設計を学び、また造作家具の計画、設計法を修得する ・室内空間の細部納まりを理解する ・室内表現で、1点透視図法作成法を修得する ・建築製図法の基本を修得することで、CAD設計との連携をスムーズにする			
到 達 目 標		・建築、インテリアにおける基礎製図法を身に付ける : 設計図の正しい理解と、作図法について ・建築、インテリアにおける基礎設計法を身に付ける : 単位空間を含め、動線計画と建築計画の知識を応用させる : 単なる設計製図表現でなく、美しく・わかりやすい図面表現を修得する ・建築物の基本的な構造を、設計製図を通して理解する ・作り付け家具の製図法、設計法を修得する : 便利で合理的な、造作家具が設計できるようにする : インテリア構成材や建築空間のディテールを理解する ・室内の1点透視図が作成できるようにする : 色鉛筆で着色ができ、爽やかで明瞭な1点透視図が作成できる			
目 標 資 格		・二級建築士			
前 提 知 識		・図学基礎、基礎数学の知識が必要			
授 業 計 画		コマ数	授 業 内 容		
		3	①建築、インテリア製図基本技術の習得: 作図法・文字の書き方・記号の理解等		
		5	②建築、インテリア計画寸法の習得: 単位空間講座を行い、各種必要寸法体系を理解する		
		5	③建築基本図: 平面図/展開図/各伏図/カナバカリ図の作図を行う: 製図課題		
		5	④家具三面図: 平面図/正面図/側面図の作図を行う: 製図課題		
		5	⑤設計課題		
		15	・小規模住宅の設計(平面図・断面図・断面詳細図・展開図等を作成): 構造は木造とRC		
計	15	・店舗の設計(平面図・断面図・断面詳細図・展開図等を作成): 構造はSとRC			
	15	・RC住宅の平面詳細図の作図(構造とインテリア構成材の取合せを理解する)			
	8	*ある計画条件に即した平面詳細図を作成、インテリア空間を計画設計する 注: 課題に関しては、講座進行の程度により変更されることがある			
	76				
使 用 教 材		・超入門 建築製図(市ヶ谷出版社) ・解説プリント/演習プリント			
履 修 上 の 意		・指定教材、テキスト・解説プリントなどを忘れないで持参すること			
成 績 評 価 の 方 法		・課題内容・提出状況 80% ・授業に取り組む姿勢 20%			

シラバス

作成日：2019年 4月 1日

学 科 名		インテリア科			
コ ー ス 名					
科 目 名		CAD設計 I (二級建築士認定科目)		科 目 分 類	独自 / 共通
履 修 年 次	1	履 修 学 期	通年	授 業 形 態	講義 / 実習 / 演習
コマ数 / 週	4	総授業コマ数	152	単 位 数	8
担 当 教 員	松野 義勝	実 務 経 験	企業にて下記業務に携わる ・専用、集合住宅の設計監理 ・店舗の設計監理 ・公共建築の企画の設計監理 ・展覧会への出店、各種建築系イベントの企画 ・各種建築インテリアデザインコンペティションへの提出 上記のジャンルの基本設計・実施設計、現場設計監理など幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う		
目的 / 概要	・建築、インテリアにおけるCAD製図の基礎を修得する ・建築、インテリアにおけるCAD設計の基礎を修得する ・汎用CADソフト、VectorWorksの2D/3Dの基本的な操作方法を修得する ・CADが建築、インテリア設計においてどのような可能性を秘めているか、ある程度イメージすることができる				
到達目標	・VectorWorksによる2D/3D建築、インテリア製図法を身に付ける ・建築の基本作図法を、CAD設計製図にも取り入れることができ、効率のいいレイヤ・クラス計画ができる ・CAD表現の特性を理解し、常に美しくわかりやすい表現を目指す *CAD設計Ⅱにおいても同様である ・CAD設計Ⅱにおいて、より高度な設計製図、表現ができるようにこころがけて学習すること ・関連科目との連携を意識し、設計を行う場合その総合表現であることを意識すること				
目標資格	・二級建築士				
前提知識	・特になし ただし初歩的なWindowsOSの知識があることが望ましい				
授 業 計 画	コマ数	授 業 内 容			
	12	・VectorWorksの基礎的動作の修得:主にテキスト課題(自宅地図等も含む) *作図練習を行う(製図課題)			
	24	・2D製図法:主にテキスト課題(家具などの詳細製図):建築基本図作図法は、設計製図で修得する *家具三面図1/20、家具断面詳細図1/20を作成する(製図課題)			
	48	・2D3D製図法:主にテキスト課題(家具・小規模の店舗等) *平面図1/100、断面図1/100、立面図1/100、家具断面詳細図1/20、3DCGによる外観を作成する(製図課題)			
	12	・住吉の長屋の改良課題:平面図及び展開図を作成し、自分なりに問題点を掲げ、修正平面図を作成する *平面図1/100、断面図1/100、立面図1/100、3DCGによる内観パースを作成する(設計課題)			
	32	・極小規模の2階建住宅(壁式RC造)の製図を行い、LDKの3Dパースを作成する *平面図1/100、断面図1/100、立面図1/100、展開図1/50をトレースすることで、建築計画及び空間の基本を修得する(製図課題) また、LDKのインテリアコーディネートを行う			
	24	・小規模の2階建住宅を設計する *壁式RC構造 / ・規模70㎡程度 / ・2階建て / ・専用住宅 *平面図1/100、断面図1/100、立面図1/100、展開図1/50、3Dによる外観及び主な室の室内パース作成(設計課題) *建築に関わる基本的な諸要件(計画・法規等)の解決は必須設計を進めながらその解決法を理解、修得する 注:課題に関しては、講座進行の程度により変更されることがある			
計	152				
使用教材	・Vectorworksデザインブック 2017・16・15・14・13・12対応(ソシム株式会社)/演習プリント				
履修上の意注	・データは、所定のサーバー及び各自のパソコンの指定箇所に保存すること ・データのバックアップは、各自で確実に行うこと				
成績評価の方法	・課題内容・提出状況 80% ・授業に取り組む姿勢 20%				

シラバス

作成日：2019年 4月 1日

学 科 名	インテリア科				
コ ー ス 名					
科 目 名	デジタルデザイン			科 目 分 類	独自 / 共通
履 修 年 次	1	履 修 学 期	通年	授 業 形 態	講義 / 実習 / 演習
コマ数 / 週	1	総授業コマ数	38	単 位 数	2
担 当 教 員	松野 義勝	実 務 経 験			
目 的 / 概 要	・基礎的な画像加工の技術を習得する ・画像データや、CADデータを適宜加工して、より美しく分りやすい表現力を身につける				
到 達 目 標	・Photoshopの操作方法を習得する ・画像データの加工技術や、効果的な制作のプロセスを見いだせることが重要 ・美しく、見やすいプレゼンテーション力を身につける				
目 標 資 格					
前 提 知 識					
授 業 計 画	コマ数	授 業 内 容			
	3	フォトショップの基本			
	5	CDジャケットのデザイン			
	8	ホームページのデザイン			
	5	オシャレなボタンのデザイン			
	14	フォトショップを極めよう(課題適宜)			
	3	各種機能の理解と修得			
計	38				
使 用 教 材	・教員制作の補助教材や、CAD制作のデータを活用して行う				
履 修 上 の 意 注	・節電、実習室の使用上のマナーを厳守すること				
成 績 評 価 の 方 法	・各課題 80% ・授業に取り組む姿勢 20%				

シラバス

作成日：2019年 4月 1日

学 科 名		インテリア科			
コ ー ス 名					
科 目 名		カラーコーディネイト		科 目 分 類	独自 / 共通
履 修 年 次	1	履 修 学 期	通年	授 業 形 態	講義 / 実習 / 演習
コマ数 / 週	1	総授業コマ数	38	単 位 数	2
担 当 教 員	伊藤 奈緒美	実 務 経 験			
目 的 / 概 要	・色彩の知識は、インテリア科に必須である 特に室内のカラーコーディネートにおいては、その活用能力が大変重要視されている ・カラーコーディネイトは、必要な最低限の知識を習得し、更に必要に応じて演習を行う ・実際に身に付いた知識を確認するために、3級カラーコーディネーター検定合格を目指す				
到 達 目 標	・インテリア業務全般に必要な、色彩の知識を身につける				
目 標 資 格	・3級カラーコーディネーター				
前 提 知 識					
授 業 計 画	コマ数	授 業 内 容			
	1	オリエンテーション			
	2	色彩の基礎			
	3	色と心理			
	5	配色と色彩調和			
	3	色が見える仕組み			
	6	混色と色表現			
	3	色彩文化			
	3	絵画における色彩調和			
	3	検定対策			
	8	各種実習			
	1	期末考査			
計	38				
使 用 教 材	・新配色カード(日本色研事業) ・カラーコーディネーター検定試験®3級公式テキスト(東京商工会議所検定センター) ・カラーコーディネーター検定試験®3級問題集(東京商工会議所検定センター)				
履 修 上 の 意 注	・必要教材を持参 ・教室美化に努める				
成 績 評 価 の 方 法	・期末試験 45% ・授業に取り組む姿勢 55%				

シラバス

作成日：2019年 4月 1日

学 科 名		インテリア科			
コ ー ス 名					
科 目 名		インテリアコーディネイト		科 目 分 類	独自 / 共通
履 修 年 次	2	履 修 学 期	通年	授 業 形 態	講義 / 実習 / 演習
コマ数 / 週	前4・後2	総授業コマ数	114	単 位 数	6
担 当 教 員	松野 義勝	実 務 経 験	企業にて下記業務に携わる ・専用、集合住宅の設計監理 ・店舗の設計監理 ・公共建築の企画の設計監理 ・展覧会への出店、各種建築系イベントの企画 ・各種建築インテリアデザインコンペティションへの提出 上記のジャンルの基本設計・実施設計、現場設計監理など 幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う		
目 的 / 概 要	・インテリアコーディネイトに関連する知識技術を習得する ・座学による知識による解説と、演習課題による理解度確認を併せて行う 特に、単位必要寸法の理解習得には力を入れて取り組む				
到 達 目 標	・インテリアコーディネーターを目指す ・用語、必要寸法、特徴などの理解習得を目指す ・インテリアコーディネーターとしてのアドバイス能力を身につける ・一点透視図法を、確実に理解する				
目 標 資 格	・インテリアコーディネーター				
前 提 知 識	・設計製図Ⅰ、CAD設計Ⅰ、デジタルデザインを理解習得していること。				
授 業 計 画	コマ数	授 業 内 容			
	50 20 7 5 5 5 22 計 114	コーディネーター重要事項の個人ノートを作成 各種コーディネートの実習を行う 建築・インテリア・仁体系の寸法を理解する インテリア関連の設備・計画・法規などを理解する 家具全般を理解する ファブリック全般を理解する 家具図・コーディネート図、一点透視図などを実習する			
使 用 教 材	・インテリアコーディネーター1次試験過去問題集徹底研究【上】(ハウジングエージェンシー) ・インテリアコーディネーター1次試験過去問題集徹底研究【下】(ハウジングエージェンシー) ・インテリア設計士 試験問題集。(日本インテリア設計士協会)				
履 修 上 の 意 注	・A4サイズノートを準備し、重要な部分はノートを取る				
成 績 評 価 の 方 法	・課題及びレポート 80% ・授業に取り組む姿勢 20%				

シラバス

作成日：2019年 4月 1日

学 科 名		インテリア科			
コ ー ス 名					
科 目 名	インテリア計画Ⅱ(企業連携実習科目)(二級建築士認定科目)			科 目 分 類	独自 / 共通
履 修 年 次	2	履 修 学 期	通年	授 業 形 態	講義 / 実習 / 演習
コマ数 / 週	2	総授業コマ数	76	単 位 数	4
担 当 教 員	渡邊 武海	実 務 経 験	個人にて総合デザイン事務所を主宰し、各種インテリア・建築の基本設計・実施設計、現場設計監理などを行う またイベントのチラシやパンフの作成などグラフィックデザインも行い、イベントの制作・企画なども併せて行う それら幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う		
目 的 / 概 要	・インテリアコーディネートボード作成方法/プランニング/などの応用実習。(この項目は以下の企業と連携実習を行う) ・有限責任事業組合メディア・ストラータ(代表組合員 渡邊武海)により実践的なインテリアコーディネート能力を身に着けるために、連携実習を行う。事前に担当者と連携実習の内容について綿密な打合せを行い、実習に臨む なおインテリアコーディネート ボードの作成が完了したら、個別で課題のプレゼンテーションを行い、生徒各員の学習達成度の把握を行う ・高度な福祉住環境に対する知識を修得する ・応用的な店舗について、プランニングできる能力を身に付ける ・様々な家具の表現方法を修得する				
到 達 目 標	・有効な、インテリアコーディネートボードの作成ができる ・高齢者、障害者対策が実際の設計に活かせるレベルを目指す ・店舗の空間設計ができる ・機能と意匠のバランスを取ることができる ・マーケティングやセールスプロモーションを意識したデザインができる ・実現できるプランニングを常に意識することができる				
目 標 資 格	・二級建築士、インテリアコーディネーター				
前 提 知 識	・それまでの学習の成果				
授 業 計 画	コマ数	授 業 内 容			
	2	「インテリアコーディネートボード作成」説明および質疑応答(企業連携実習)			
	4	平面計画図の作成(企業連携実習)			
	4	展開図の作成(企業連携実習)			
	4	必要エレメントの収集(企業連携実習)			
	6	コーディネートボード作成(企業連携実習)			
	3	高齢者対策の実践			
	3	医療と環境の関係			
	3	空間とその対策			
	3	プランニング概要			
	10	基本計画			
	10	詳細計画			
	5	スタディー			
	18	プレゼンテーションパネル作成			
	1	・期末考査			
計	76				
使 用 教 材	・インテリアコーディネーター関連テキスト及び参考書。(過去問題集含む) ・福祉住環境コーディネーター関連テキスト及び過去問題集。				
履 修 上 の 意 注	・A4サイズノートを準備し、重要な部分はノートを取る。				
成 績 評 価 の 方 法	・期末試験 30% / 企業連携実習課題 30% ・演習課題及びレポートなど 30% / 平常点 10%				

シラバス

作成日：2019年 4月 1日

学 科 名		インテリア科			
コ ー ス 名					
科 目 名		建築法規(二級建築士認定科目)		科 目 分 類	独自 / 共通
履 修 年 次	2	履 修 学 期	前期	授 業 形 態	講義 / 実習 / 演習
コマ数 / 週	1	総授業コマ数	19	単 位 数	1
担 当 教 員	佐藤 有紀	実 務 経 験	個人にて建築設計事務所を主宰し、各種建築の基本設計・実施設計、現場設計監理・事務所経営など幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う		
目 的 / 概 要	・建築法規の意義と、その内容について理解修得する ・建築設計基礎能力を修得する ・インテリアプランニング/コーディネートの基礎知識修得サポート				
到 達 目 標	・基準法の概要を理解修得する ・単体規定、集団規定の概要を理解修得する ・建築手続について理解する ・法令集の引き方、読解法を修得する ・建築士としての倫理観を養う				
目 標 資 格	・二級建築士				
前 提 知 識	・基礎建築知識、文章理解能力				
授 業 計 画	コマ数	授 業 内 容			
	1	・概要、用語の定義、面積等			
	3	・建築手続			
	3	・一般構造、設備規定			
	3	・防火、避難施設、構造強度			
	3	・道路、用途地域、面積、高さ防火・準防火地域			
	3	・その他の規定			
	1	・建築士法、建設業法			
	2	・期末考査			
計	19				
使 用 教 材	・超入門建築基準法 イラスト解説による(市ヶ谷出版社)、 建築基準法関係法令集2018年版(横書)(建築資料研究社) ・演習プリント(進度により調整) ・指定教材(進度により調整)				
履 修 上 の 意 注	・A4サイズノートを準備し、重要な部分は工夫しながらノートを取ること ・指定教材を忘れないで準備すること				
成 績 評 価 の 方 法	・定期試験の成績 50% ・課題内容・提出状況 30% ・授業に取り組む姿勢 20%				

シラバス

作成日：2019年 4月 1日

学 科 名		インテリア科				
コ ー ス 名						
科 目 名		建築施工(二級建築士認定科目)			科 目 分 類	独自 / 共通
履 修 年 次	2	履 修 学 期	前期	授 業 形 態	講義 / 実習 / 演習	
コマ数 / 週	1	総授業コマ数	19	単 位 数	1	
担 当 教 員	伊藤 功啓	実 務 経 験				
目 的 / 概 要	・各種工事の施工方法、管理を理解修得する ・工事積算の概要について理解する ・建築設計基礎能力を修得する ・インテリアプランニング/コーディネートの基本知識修得サポート					
到 達 目 標	・建築施工の概要を理解修得する ・建築施工管理の概要を理解修得する ・基礎工事、躯体工事、仕上工事などの概要を理解修得する ・建築施工とインテリア施工の接点を理解する					
目 標 資 格	・二級建築士					
前 提 知 識	・基礎建築知識					
授 業 計 画	コマ数	授 業 内 容				
	4	・施工計画、施工管理				
	4	・仮設、地業、基礎工事				
	4	・躯体工事、木工事				
	4	・各種工事				
	1	・用語、機械器具				
	1	・積算、測量概要				
	1	・期末考査				
	計	19				
使 用 教 材	・専門士課程 建築施工(第二版)(学芸出版社) ・演習プリント(進度により調整) ・指定教材(進度により調整)					
履 修 上 の 意 注	・A4サイズノートを準備し、重要な部分は工夫しながらノートを取ること ・指定教材を忘れないで準備すること					
成 績 評 価 の 方 法	・定期試験の成績 50% ・課題内容・提出状況 30% ・授業に取り組む姿勢 20%					

シラバス

作成日：2019年 4月 1日

学 科 名		インテリア科			
コ ー ス 名					
科 目 名		住宅計画(二級建築士認定科目)		科 目 分 類	独自 / 共通
履 修 年 次	2	履 修 学 期	通年	授 業 形 態	講義 / 実習 / 演習
コマ数 / 週	3	総授業コマ数	114	単 位 数	6
担 当 教 員	千葉 託巳	実 務 経 験	個人にて建築設計事務所を主宰し、各種建築の基本設計・実施設計、現場設計監理・事務所経営など幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う		
目 的 / 概 要	・木造住宅について企画から設計まで一連の流れを体験し、その概要を理解修得する ・単位空間について、より詳しく知識を深める ・インテリアプランニング/コーディネートの基礎知識修得サポート				
到 達 目 標	・木造住宅について正しく理解修得する ・歴史から設計の流れを一連の流れとして捉えることができる能力を身に付ける ・実際の木造住宅と同様のプロセスで設計を体験し、その奥の深さ・充実感を体感する ・単なる意匠設計ではなく、確実に建築可能な住宅を設計する				
目 標 資 格	・二級建築士				
前 提 知 識	・設計製図Ⅰ、Ⅱ/CAD設計Ⅰ、Ⅱ/その他建築系基礎知識を修得していること				
授 業 計 画	コマ数	授 業 内 容			
	3	・木造住宅の概要			
	15	・基本設計(企画、調査、条件の整理、構想、エスキス)			
	30	・実施設計(設計概要、付近見取り図、法の検討、配置・平面・立面・断面・かなばかり図) (屋根伏・天井伏・展開図、建具・仕上表)			
	15	・構造図(床伏・小屋伏・軸組)			
	21	・設備設計(空調、電気)			
計	30	・小規模住宅設計課題を各期ごとに行う (基本設計→実施設計の一部(伏図除く))演習プリントにて詳細は指示			
	114				
使 用 教 材	・住宅の計画学入門―住まい設計の基本を知る(鹿島出版会) ・演習プリント(進度により調整) ・指定教材(進度により調整)				
履 修 上 の 意 注	・A4サイズノートを準備し、重要な部分は工夫しながらノートを取ること ・指定教材を忘れないで準備すること				
成 績 評 価 の 方 法	・課題内容・提出状況 80% ・授業に取り組む姿勢 20%				

シラバス

作成日：2019年 4月 1日

学 科 名		インテリア科			
コ ー ス 名					
科 目 名		建築構造(二級建築士認定科目)		科 目 分 類	独自 / 共通
履 修 年 次	2	履 修 学 期	通年	授 業 形 態	講義 / 実習 / 演習
コマ数 / 週	2	総授業コマ数	76	単 位 数	4
担 当 教 員	西條 由紀子	実 務 経 験	個人にて建築設計事務所を主宰し、各種建築の基本設計・実施設計、現場設計監理・事務所経営など幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う		
目 的 / 概 要	・建築構造の意義と、その内容について理解修得する ・建築設計基礎能力を修得する ・インテリアプランニング/コーディネート基礎知識修得サポート				
到 達 目 標	・建築構造の概要を理解修得する ・構造力学の基礎を理解修得する ・地盤の重要性を理解する ・代表的な、木構造や鉄筋コンクリート造・鉄骨造を理解する ・耐震の重要性を理解する				
目 標 資 格	・二級建築士				
前 提 知 識	・特に無し				
授 業 計 画	コマ数	授 業 内 容			
	2	・構造物について			
	10	・応力、断面の性質、応力度			
	18	・不静定構造物			
	3	・構造設計			
	14	・地盤と基礎			
	10	・木構造			
	10	・鉄筋コンクリート構造			
	5	・鉄骨造			
	2	・その他構造			
計	2	・期末試験			
	76				
使 用 教 材	・基礎シリーズ 最新建築構造入門(実教出版社) ・演習プリント(進度により調整) ・指定教材(進度により調整)				
履 修 上 の 意 注	・A4サイズノートを用意し、重要な部分は工夫しながらノートを取る ・指定教材を忘れないで準備すること				
成 績 評 価 の 方 法	・定期試験の成績 50% ・課題内容・提出状況 30% ・授業に取り組む姿勢 20%				

シラバス

作成日：2019年 4月 1日

学 科 名		インテリア科			
コ ー ス 名					
科 目 名		CAD設計Ⅱ(二級建築士認定科目)		科 目 分 類	独自 / 共通
履 修 年 次	2	履 修 学 期	通年	授 業 形 態	講義 / <u>実習</u> / 演習
コマ数 / 週	3	総授業コマ数	114	単 位 数	6
担 当 教 員	松野 義勝	実 務 経 験	企業にて下記業務に携わる ・専用、集合住宅の設計監理 ・店舗の設計監理 ・公共建築の企画の設計監理 ・展覧会への出店、各種建築系イベントの企画 ・各種建築インテリアデザインコンペティションへの提出 上記のジャンルの基本設計・実施設計、現場設計監理など幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う		
目的 / 概要	・建築、インテリアの製図法を正しく表現するだけでなく、より美しく見やすい表現を目指す ・建築、インテリアに要求される計画、設計法を修得する ・建築、インテリアに要求される諸要件の解決方法を見出すことができる ・CAD設計Ⅰで修得したVectorWorksの機能を活かし、より高度な設計課題を制作する ※画像処理ソフト「フォトショップ」などの基礎を修得し、VectorWorksと連携させることによりCADだけでは表現できない、より高度な3DCGを作成できる能力を修得する				
到達目標	・建築、インテリアにおける単位寸法を理解する ・建築、インテリアにおける計画諸要件を理解でき、設計に活かすことができる ・建築、インテリアにおける細部(ディテール)の表現ができる:2D/3D共 ・製図、或いは設計で表現された図面が、実際の建築施工でどのようになっているかある程度イメージすることができる ・CADが実際の仕事で、どのように機能するのか、概念的に理解している ・クライアントがイメージを理解できるような、美しく見やすい2D/3D画像が作成できる ・給湯、排水、空調、照明などの、建築設備計画の基礎を修得する				
目標資格	・二級建築士				
前提知識	・CAD設計Ⅰを修得していること				
授 業 計 画	コマ数	授 業 内 容			
	15	・和室詳細図2D表現:伝統的和室のディテールの理解:美しく見やすいようにレイアウトする※1/50平面詳細図・1/50展開図の作成(製図課題)			
	15	・店舗詳細図2D表現:店舗の什器や、下地と仕上げの関係などの基本を理解する:美しく見やすいようにレイアウトする※1/50平面詳細図・1/50展開図の作成(製図課題)			
	27	・店舗3D表現:前期平面詳細図を基に、3DCGパース外観及び内観を作成する:美しく見やすいようにレイアウトする(製図課題)			
	15	・家具のデザイン設計:椅子・ソファ・テーブル・作り付け家具等を、ユーザー像を想定し計画設計する ※家具三面図1/20及び3DCGによる外観を作成する(設計課題)			
	12	・キッチンのデザイン設計を行う:住環境を想定した建築物の室内空間において、LDKの設計を行う ※平面図1/50、展開図1/50、3DCGによる内観パース作成(設計課題)			
	30	・小規模の2世帯住宅及び店舗付住宅を設計する:現代の住環境に必要な要件を理解し、それを設計に活かすことを学ぶ ※平面図1/100、断面図1/100、立面図1/100、店舗部分展開図1/50、3DCGによる内外観のパース作成(設計課題)			
計	114	注:課題に関しては、講座進行の程度により変更されることがある			
使用教材	・Vectorworksデザインブック 2017・16・15・14・13・12対応(ソシム株式会社)/演習プリント				
履 修 上 の 意 注	・データの扱いはCAD設計Ⅰと同様 ・常に建築/インテリア設計との関わりを意識し、より高度な連携ができるように努めること				
成績評価の方法	・課題内容・提出状況 80% ・授業に取り組む姿勢 20%				

シラバス

作成日：2019年 4月 1日

学 科 名	インテリア科				
コ ー ス 名					
科 目 名	インテリア制作			科 目 分 類	独自 / 共通
履 修 年 次	2	履 修 学 期	後期	授 業 形 態	講義 / 実習 / 演習
コマ数 / 週	6	総授業コマ数	114	単 位 数	6
担 当 教 員	松野 義勝 鹿野 明子	実 務 経 験			
目 的 / 概 要	・学習成果の集大成として、作品を制作する ・継続的で困難な課題制作に取り組むことで、今後の人生の礎とする				
到 達 目 標	・高度な作品を作りあげること、インテリアデザインの醍醐味を体感する ・学科プレゼンテーションを体験し、自身のプレゼンテーションスキルを向上させる ・制作作品について、わかりやすく説明できる				
目 標 資 格					
前 提 知 識	・それまでの学習の成果				
授 業 計 画	コマ数	授 業 内 容			
	5	制作企画書作成			
	2	企画に関する調査			
	5	企画に関するスタディー			
	5	初期設計			
	5	基本計画			
	77	プレゼンテーションCG作成(2D/ 3D)制作			
	10	説明用パワーポイントの作成			
	5	作品プレゼンテーション			
	計 114	*以上一般的な流れ。制作物により、変更される場合がある。			
使 用 教 材	・学内にあるPCやソフト以外に必要なものを、各自用意する				
履 修 上 の 意 注	・テーマ選びを慎重に ・スケジュール管理 ・報告、連絡、相談を意識して作業する ・教室実習室の美化に努める				
成 績 評 価 の 方 法	・作品及び発表の成果 80% ・授業に取り組む姿勢 20%				